


クラス	C114	担当教員	まつお としゆき 松尾 敏之
			現代日本の家族問題を考える
		著書・論文 研究課題等	「高齢者虐待」『家政学事典』日本家政学会編 朝倉書店 (2004) 「中学美術とマンガ文化」教育講演会 河合文化教育研究所 (2018) 「バロック音楽と古楽器リユート」教育講演会 河合文化教育研究所 (2018) 「成績の伸び悩みを考える」教育講演会 (2018) 『とろとろなごや』とろとろくらぶ編 (2019)

ゼミナール概要

キーワード： 核家族 少子高齢化 虐待 離婚 貧困

目的、内容、方法等：

誰もが所属している集団のひとつが家族です。そのなかで育ち自立し、そして自分があたらしい家族をつくります。現代日本は昔ながらの家族についての考えや制度が残っています。その家族は時代とともにスタイルが変化しています。その中で様々な問題が出てきます。その問題とは、親子の問題 夫婦の問題 高齢者の問題などです。新聞やテレビニュースなどでとりあげられている痛ましい事件、親の殺人、子どもや高齢者の虐待や殺人などがその例です。そのような現代家族の中で「家族」とは何か 「家族」の機能は何かを歴史の流れの中からとらえます。そして現代の「家族」の役割や機能を考えます。また「家族」の機能障害を考え、将来の「家族」のあり方を考えていきます。

どんなことに対しても「なぜ」「どうして」「何だろう」などを自分で考えてみる。その考えをわかりやすく文書にすること。各自テーマを決め必要な資料を集め、まとめること、発表することなどを学習します。

2年生 テキストや資料などを使い基礎知識を学ぶ。

3年生 各自テーマについて研究する。研究した内容をまとめ報告し討論する。

4年生 卒業論文を作成する。

学生間のコミュニケーションを円滑に進めるため、時間を見つけてゼミ合宿や食事会などおこないたいと考えています。

使用テキスト

日本家政学会編『現代家族を読み解く 12章』丸善出版、2018年

まじめに学習する。何事にも前向きに考え、がんばろうとする。コミュニケーションを大切にする。遊びところがある。楽しくゼミをすごす。これらに該当すると思うあなたは松尾ゼミの一員になりましょう。